北海商科大学　講義概要（シラバス）

2026年度

科目名	観光研究ゼミナールIII	科目コード	1235	単位数	2
担当者名	佐藤　博樹	開講セメスター	第6セメスター	開講年次	3年次
授業の方法	演習	到達目標	F,H	実務経験	無
ナンバリング	LSe603	※DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

授業のねらい

本ゼミでは、ゼミナールⅠ・Ⅱに続き、DX(Digital Transformation)が急進展する社会で活躍するビジネスパーソンに必ず求められる情報活用力、BI(Business Intelligence)の基盤を「Excelを活用したビジネスデータ分析力」とみなし、仮想の実戦的なビジネスデータの処理を通して分析力のスキルアップを目指します。さらに本ゼミでこれまで修得したスキルを踏まえて、機能の拡張・進歩が著しいモダンExcelに加え、世界的に急速に普及してきているBIツールMicrosoft Power BI について、操作の基本と応用テクニックを習得して、企業のDXにスムーズに対応できる能力を効率よく養成します。併せてテキストに基づき、成功している各種観光事業に関するプレゼン資料をPowerPointで作成しつつビジネスモデルを深掘りし、動画ファイルへの落とし込みを通じて動画資料の作成技法をマスターします。

到達目標

①ビジネスデータ分析手法ごとの分析目的、データ処理手順、結果の読み方等をExcel 2024･365の操作テクニックと併せてマスターすることで、ビジネスデータに含まれる情報を目的に応じて自在に取り出し、活かせるようになる。
②モダンExcelの諸機能、Microsoft Power BIの基礎的な操作・活用方法をマスターし、売上分析ダッシュボード等を作成できるようになる。
③上記の学修過程で、学内無線LAN(WiFi)のアクセスポイントを経由してオンライン上の最新のサービス経営データや情報サービスに数多くアクセスし、効率的にICT（情報通信技術）を利活用できるようになる。

授業内容

1週目 なぜ企業は経営分析をするのか（財務３表を理解する）、貸借対照表は資金の流れを見る決算書（貸借対照表のしくみを理解する）
2週目 損益計算書は企業の利益や収益性を見る決算書、利益には５種類のバリエーションがある（損益計算書のしくみを理解する）
3週目 キャッシュフロー計算書でキャッシュの流れをみる（キャッシュフロー計算書のしくみを理解する）
4週目 企業の財務の推移を表現する！（比較損益計算書を作成する）
企業の基本的な実力を評価する！（売上高と利益の成長率を検討する）
5週目 企業の収益性、資本と利益の関係から儲かっているかを検討する（売上高経常利益率、ROAとROEで収益性を評価する）
6週目 モダンExcelでダッシュボードを作成する①（ワークシートのリスト・テーブルデータから家計簿分析ダッシュボードを作成する）
7週目 モダンExcelでダッシュボードを作成する②（ワークシートのリスト・テーブルデータから売上分析ダッシュボードを作成する）
8週目 モダンExcelでダッシュボードを作成する③（ETL操作とスタースキーマを理解し、ファクトテーブルとディメンションテーブルにリレーションを張ってデータモデルを構築する）
9週目 モダンExcelでダッシュボードを作成する④（構築したデータモデルから売上分析ダッシュボードを作成する）
10週目 Business Intelligenceとは何か（BI概念を理解し、代表的なBIツールであるMicrosoft Power BI Desktopの概要を知る）
11週目 Microsoft Power BIでダッシュボードを作成する①（ワークシートのリスト・テーブルデータから売上分析ダッシュボードを作成する）
12週目 Microsoft Power BIでダッシュボードを作成する②（ETL操作とスタースキーマを理解し、ファクトテーブルとディメンションテーブルにリレーションを張ってデータモデルを構築する）
13週目 Microsoft Power BIでダッシュボードを作成する③（構築したデータモデルから売上分析ダッシュボードを作成する）
14週目 Microsoft Power BIを活用する①（酒類の輸出額やビール類の販売量の推移を調べてみる）
15週目 Microsoft Power BIを活用する②（経営ダッシュボードを作成する）
16週目 作成した課題に関する総合的な講評を行う。ただし、やむを得ず15週目までの授業内容を実施できなかった場合は補講授業を行う。

準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

・予習と復習は、基本的にテキストと学内無線LAN(Wi-Fi)を通して配付される講義資料を熟読し、併せてmanabaで配信されるオンデマンド動画教材を視聴して理解を深めること。
・予習：毎回の授業で指示された箇所を予め熟読し、manabaで配信されるオンデマンド動画教材を視聴しておくこと。(90分程度)
・復習：manabaで配信されるオンデマンド動画教材を再度視聴し直すこと。
・予習・復習等においては、講義資料や学内無線LAN(Wi-Fi)を使用してオンライン上から入手した最新のサービス経営データや情報サービスを活用して課題に取り組む。

成績評価の方法・基準

・成績は、学習姿勢、データ処理の実技能力、授業で作成した課題ファイルの完成度合等で総合的に評価します。
・成績評価に際しては、授業態度も判定要因とすることがあります。

履修上の留意点

・講義は原則として対面で実施し、オンデマンド動画教材も同時に配信します。
・授業中も随時指導しますが、基本的に毎回パソコンを使用するのでコンピュータ・リテラシーⅠ・Ⅱの内容をしっかり理解しておくこと（特にExcel 2024･365の表計算、グラフ機能、データベース機能を使用）。
・講義の受講時におけるマナー・注意事項について注意を受け、改善の兆しがない者は不合格となることがあります。

課題に対するフィードバックの方法

・個々の課題ファイルの完成度合に関する講評は、原則として適宜行います。

テキスト

・テキストは「観光研究ゼミナールⅡ」と同じテキストを使用します。
・高橋一夫・柏木千春編著「１からの観光事業論 第２版」（碩学社）￥2,970
・随時自作の資料を配付します。

参考書

・片平毅一郎著『Microsoft Power BIの教科書　第２版』（秀和システム）2,420円

更新日付

2026/01/28 11:17